



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えましょう。

2021年8月17日朝刊西部版



防災に関する新聞を毎月発行している落合さん
＝御前崎市池新田

『防災新聞』毎月発行

御前崎の落合さん 手作り

自助努力のヒントに

御前崎市池新田の落合美恵子さん(64)が、手作りの「備える防災・減災新聞」を地元町内会で配布している。「自助努力のヒントにしてほしい」と、昨年4月から毎月欠かさず発行。災害ボランティア団体の代表としての経験と知識を生かし、日頃の備えの大切さを訴えている。

住民インタビューも

「新聞」はA4判1枚で、記事はメインの話題と地元住民へのインタビューの2本柱。5月は市区町村が発令する避難情報で「避難勧告が廃止されたことを周知し、土砂災害防止月間の6月は過去の豪雨災害を例に対策を促すなど、時期に応じてテーマを取り上げている。1月は阪神大震災、3月は東日本大震災について触れた。インタビューでは「県の第4次地震被害想定を知っていますか」「災害でどんなことが心配ですか」などを質問し、回答を共有することで意識を啓発している。

落合さんはNPO法人御前崎災害支援ネットワークの代表理事を務め、これまで全国の地震や豪雨の被災地で支援活動をしてきた。「多くの人が災害が起きてから言う『うすればいいか』と慌てていた。知恵があれば落ち着いて行動できる」と話す。今後は自主防災活動に女性が積極的に参加できるように訴えていくという。

(御前崎支局・木村祐太)

- ①記事で紹介している手作りの新聞を何といいますか。()
- ②この新聞は、どんな目的で発行されていますか。()
- ③この新聞の6月のテーマは何ですか。()
- ④この新聞で「工夫している」と思われる点を30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校、教員／社会、総合)

記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2021年8月17日朝刊西部版



防災に関する新聞を毎月発行している落合さん
＝御前崎市池新田

『防災新聞』毎月発行

御前崎の落合さん 手作り

自助努力のヒントに

御前崎市池新田の落合美恵子さん(64)が、手作りの「備える防災・減災新聞」を地元町内会で配布している。「自助努力のヒントにしてほしい」と、昨年4月から毎月欠かさず発行。災害ボランティア団体の代表としての経験と知識を生かし、日頃の備えの大切さを訴えている。

住民インタビューも

「新聞」はA4判1枚で、記事はメインの話題と地元住民へのインタビューの2本柱。5月は市区町村が発令する避難情報で「避難勧告が廃止されたことを周知し、土砂災害防止月間の6月は過去の豪雨災害を例に対策を促すなど、時期に応じてテーマを取り上げている。1月は阪神大震災、3月は東日本大震災について触れた。インタビューでは「県の第4次地震被害想定を知っていますか」「災害でどんなことが心配ですか」などを質問し、回答を共有することで意識を啓発している。

落合さんはNPO法人御前崎災害支援ネットワークの代表理事を務め、これまで全国の地震や豪雨の被災地で支援活動をしてきた。「多くの人が災害が起きてからどうすればいいか」と慌てていた。知恵があれば落ち着いて行動できる」と話す。今後は自主防災活動に女性が積極的に参加できるように訴えていくという。

(御前崎支局・木村祐太)

- ①記事で紹介している手作りの新聞を何といいますか。(**「備える防災・減災新聞」**)
- ②この新聞は、どんな目的で発行されていますか。
(**(例) 日ごろの備えの大切さを訴え、自助努力のヒントになるようにするため。**)
- ③この新聞の6月のテーマは何ですか。
(**(例) 過去の豪雨災害を例に対策を促す(テーマ)。**)
- ④この新聞で「工夫している」と思われる点を30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

(例) 地元住民へのインタビューを掲載して関心を高めている点。(27字)
インタビューの回答を共有することで意識を啓発している点。(28字)
月ごとに時期に応じたテーマを取り上げている点。(23字)
慌てず、落ち着いて行動できるような知恵を掲載している点。(28字)
災害ボランティア団体代表としての経験と知識を生かしている点。(30字) など

年 組 名前